

4 わたしたちにできることってなんだろう

(4) 排出された二酸化炭素を減らす取り組み

ア もっと使おう！福岡の木

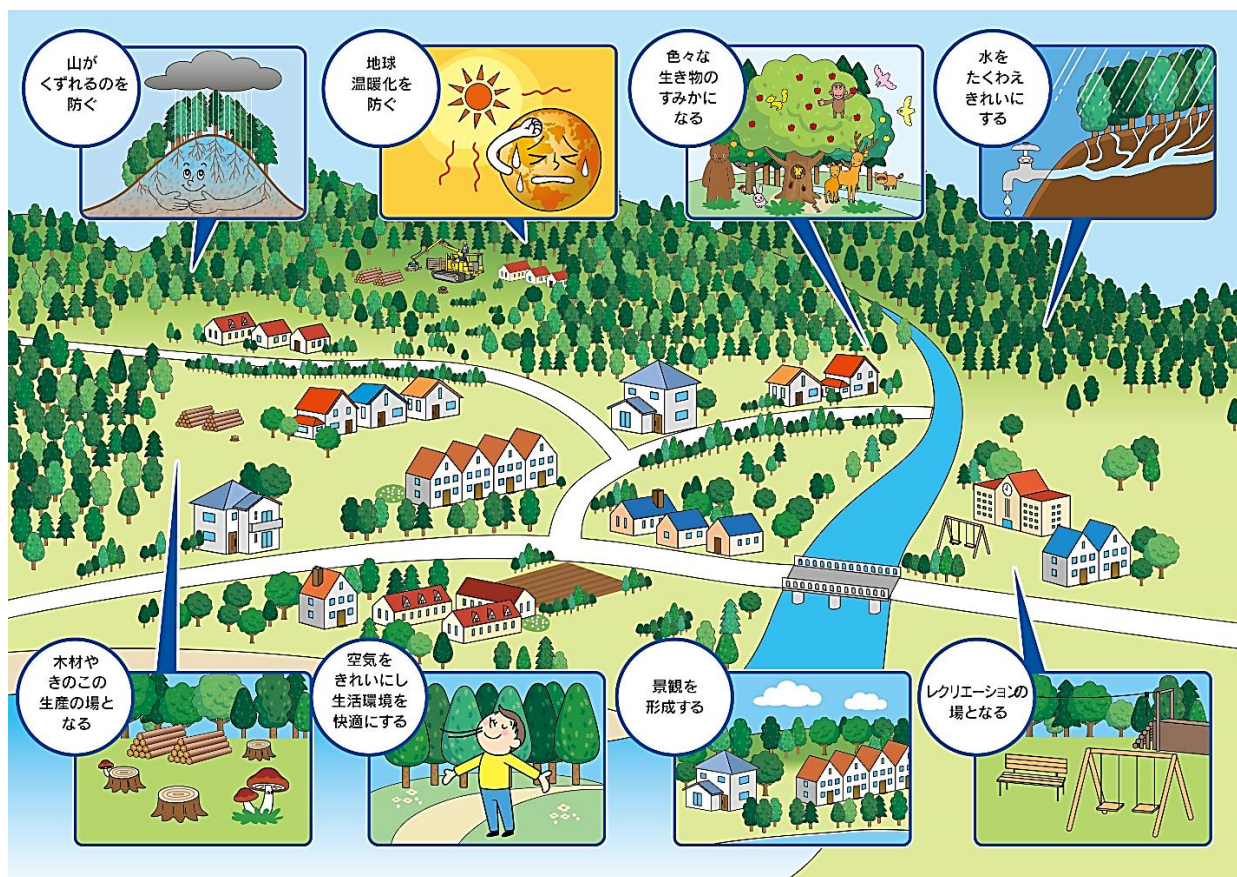
森林は、光合成をすることで地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収し、わたしたちの呼吸に必要な酸素をつくっています。

そのほかにも土に水をたくわえ、きれいにしたり、山がくずれるのを防いだりするなど様々なはたらきがあるため、そのはたらきを守っていく必要があります。

森林には、まわりの木から落ちた種などが育ってできた「天然林」と、人の手で苗木を植え育ててできた「人工林」があります。福岡県の人工林は64%であり、全国平均の46%より高くなっています。

人工林は間伐など人の手が入らないと森林の中に光が差しこまず、森林が荒廃していきまふ。林業は、育てた森林を次の世代につないでいく大切な仕事で、森林が荒廃しないように森林のはたらきを守っています。

森林のはたらき





調べてみよう

下図の「^{かんばつ}間伐などの手入れが行き届いた健全な森林」と「^{かんばつ}間伐などの手入れが行き届かず荒廃した森林」のイラストを見て、どこがちがうかを見つけて間伐の意義について考えてみよう。

^{かんばつ}間伐などの手入れが行き届いた健全な森林



^{かんばつ}間伐などの手入れが行き届かず荒廃した森林



森林を次の世代につないでいくためには、育った木を使うことも大切なんだ。福岡県産の木でできたものを使ってみよう。



【家や学校などの建物の材料】



ささぐり ささぐり
篠栗町立篠栗北中学校
ささぐり
(篠栗町)

【家具の材料】



九州国立博物館
だざいふ
(太宰府市)

【紙の原料】



木材チップ

【写真出典】林野庁
「ジュニア農林水産白書 2024 年版」



^{かんばつ}福岡県で間伐した木を利用したコピー用紙